

**柏崎市過疎地域持続的発展計画進行管理報告書(案) 書面審議意見一覧**

1 「4 柏崎市過疎地域持続的発展計画の骨子と現状」(P. 3～5)

No.	掲載ページ	意見等(原文のとおり)	回答所管課	意見に対する回答	報告書修正有無
1	P. 3	「4 柏崎市過疎地域持続的発展計画の骨子と現状」という章タイトルと内容がうまく整合していないので、「4 過疎地域持続的発展計画の基本方針、目標、及び現状」とするのが妥当と思われます。「計画の骨子」にあたる、事業計画の概要やその体系に関する記述が見当たりません。	企画政策課	「4 柏崎市過疎地域持続的発展計画の骨子と現状」という章タイトルを「4 柏崎市過疎地域持続的発展計画の基本方針及び基本目標」に変更します。	有
2	P. 3	「(1)基本方針」の4行目 産業の振興と地域の自立促進に向けて努力してきました。 努力してきました。→取り組みを行ってきました。に変更してはいかがでしょうか。 次の文章が、当該地域の人口減少という事実を述べていることから、努力してきました。という感情的な言葉より“事実認識・確認”としての言葉の方が伝わりやすいのではないのでしょうか？ とり方によっては、市民から支援の努力が不足しているとの印象や誤認を受ける方もいるのではないかと推察します。	企画政策課	「(1)基本方針」は、過疎計画の内容のとおり記載しているため、原文のままの記載とさせていただきます。ただし、タイトルを「(1)基本方針(過疎計画より)」に修正します。 ※過疎計画P. 16参照	有
3	P. 3	「(1)基本方針」の9行目 「それぞれが魅力を相互に引き出すと共に、共有、補完する～」 →「それぞれが魅力を相互に引き出すと共に、協力、補完する～」 地域が相互に「共有」するより「協力」の方が活力を生み出すという点で良いと思いました。	企画政策課	同上	有
4	P. 3	「(1)基本方針」の7行目 事業者の後継者不足→「商業の後継者不足」または「商業関係の後継者不足」へ訂正	企画政策課	同上	有
5	P. 3	「(1)基本方針」の10行目 持続的発展に向けた地域づくりを目指します。→地域づくりをめざします。へ訂正	企画政策課	同上	有

No.	掲載ページ	意見等（原文のとおり）	回答所管課	意見に対する回答	報告書 修正有無																									
6	P.3	基本方針 ア『利便性の向上』とありますが、過疎地域での利便性向上は費用対効果がうすいのではないのでしょうか。それよりもくらしやすさ、安心安全を強調するほうが新しい住民はそこに住みたいと思ってくれると思います。 P6以降の内容を見ても利便性向上の記載は無いように思えます。	企画政策課	同上	有																									
7	P.3	「人口減少・少子高齢化が急速に進行し、集落機能の維持が難しくなっている」のはそのとおりだが、現に住んでいる住民への配慮をした表現をとすべき。「何ら対策を行わないままでは」と追記するなど。	企画政策課	同上	有																									
8	P.4～5	高柳地区と西山地区以外の旧（？）柏崎市がどのくらい減少しているかが見えないので資料にあるデータから引き算をしてみました。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27年度末</th> <th>R3年度末</th> <th>減少数</th> <th>減少率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①高柳地区</td> <td>1504 (1.7%)</td> <td>1152 (1.4%)</td> <td>△352</td> <td>△8.3%</td> </tr> <tr> <td>②西山地区</td> <td>5521 (6.4%)</td> <td>4978 (6.3%)</td> <td>△543</td> <td>△9.8%</td> </tr> <tr> <td>③柏崎市全体</td> <td>86833 (100%)</td> <td>79668 (100%)</td> <td>△7165</td> <td>△8.3%</td> </tr> <tr> <td>③－ (①+②)</td> <td>79808 (91.9%)</td> <td>73538 (92.3%)</td> <td>△6270</td> <td>△7.9%</td> </tr> </tbody> </table> この計算で間違っていないとすると、高柳地区や西山地区も、もちろん重要ですが、減少数と減少率を客観的に見た場合、両地区を除いた旧（？）柏崎市＝柏崎市本体（？）の方が、より深刻であることに改めて気づく。 その点については第五次総合計画に盛り込まれているとは思いますが、この項の前置きとして、柏崎市全体の中の高柳地区と西山地区の位置付け、ウェートを明確にする必要があるのではないか。つまり高柳地区と西山地区をあわせても全体の1割に満たない、9割以上はそれ以外の地域である、ということ的前提とした見方をしないと、少し誤った方向性に向かう、視点がズレる可能性があるのではないか。 そして、P5「(3)基本目標と現状」の最後に～・・・人口減少率は市全体より高く、深刻な状況です。～とあるが、確かに減少率は全体より若干は高いが減少数そのものなどを見ると圧倒的に両地区以外の減少数が全体の減少数のほとんどであり、減少率について市全体と比較すること自体に意味がない。しかも高柳地区、西山地区からそれ以外の柏崎市への流出もあることを考えると、なおさらである。 むしろ、新潟県全体や長岡市などの他市、あるいは県内や全国で減少率が最も高い町や村などと比較した方が両地区を含めた柏崎市の現状について市民は把握しやすいと思う。		H27年度末	R3年度末	減少数	減少率	①高柳地区	1504 (1.7%)	1152 (1.4%)	△352	△8.3%	②西山地区	5521 (6.4%)	4978 (6.3%)	△543	△9.8%	③柏崎市全体	86833 (100%)	79668 (100%)	△7165	△8.3%	③－ (①+②)	79808 (91.9%)	73538 (92.3%)	△6270	△7.9%	企画政策課	過疎計画は、法に基づく財政上の特別措置を受けながら、高柳町及び西山町両地区の都市機能の維持等に向けた施策に取り組むこととして策定したものであり、両地区と他の中山間地域との位置づけに差異はありません。計画の基本目標として市全体及び両地区の人口を掲げていることから進行管理においては年度末の人口を示しておりますが、人口が少ない地区における実人数の変動は、地域コミュニティの維持等への影響も大きいことから減少率について触れた説明書きとしました。 なお、本市は過疎地域から除外（卒業団体）となっていることや、それぞれの地域の特性、実情を鑑みると、本計画の進行管理において他自治体との比較から本市の現状を把握することは難しいと考えます。	無
	H27年度末	R3年度末	減少数	減少率																										
①高柳地区	1504 (1.7%)	1152 (1.4%)	△352	△8.3%																										
②西山地区	5521 (6.4%)	4978 (6.3%)	△543	△9.8%																										
③柏崎市全体	86833 (100%)	79668 (100%)	△7165	△8.3%																										
③－ (①+②)	79808 (91.9%)	73538 (92.3%)	△6270	△7.9%																										

柏崎市過疎地域持続的発展計画進行管理報告書(案) 書面審議意見一覧

2 「5 令和3(2021)年度主要施策別の主な取組と今後の展開」(P.6~14)

No.	掲載ページ	意見等(原文のとおり)	回答所管課	意見に対する回答	報告書修正有無
1	P.6	「(1)主要施策と評価」について 7ページ以降に2地区(高柳町地区と西山町地区)における主要施策・分野別の取組と今後の展開がそれぞれ詳細に書き込まれていますので、それらを受けて、各地区について主要施策及び基本方針の達成状況と評価をまとめた説明が必要と考えます。それがないと、「過疎地域持続的発展特別事業」が自然条件や人口・社会状況の異なる高柳町地区と西山町地区の地域づくりに与えた効果や課題の抽出を有効に行えず、総合計画との整合性の確認や更には地域住民と行政の協働による地域づくりの促進を難しくすることが懸念されます。	企画政策課	P.6下段に基本方針の達成状況及び評価を記載していますが、タイトルを「(1)主要施策と具体的内容」、「(2)令和3(2021)年度の評価」に変更し、整理します。	有
2	P.6~7	「① 少子・高齢化に対応した保健・医療・福祉の充実」に対する具体的な内容の1つとして「子育て環境の確保」とあり、これに関する高柳町地区における「主な取組と今後の展開」に、高柳保育園の2年休園の事項が掲載されているが、これだと「取組」や「展開」と乖離した内容ではないか。	保育課	休園を決定するまでの過程について、次のとおり追記します。  高柳保育園の園児数の減少により、園の存続について、令和2(2020)年度から在園児の保護者や翌年度入園を希望する子どもの保護者などと意見交換会を重ね、令和3(2021)年7月に、翌年度から2年間休園する方針を決定した。令和6(2024)年度以降の園の存続については、今後検討していく。	有
3	P.6・8~9	「② 安全安心で暮らしやすい環境の整備」に対する具体的な内容の1つとして「地域における情報化」とあるが、「主な取組と今後の展開」にはこれに該当するものが見当たらないように思える。すでに記載してある項目に「地域における情報化」に該当する取組が含まれているなら、もう少し分かりやすく記載したほうがよいのではないか。	企画政策課	次のとおり追記します。  【西山町地区】 ・テレビ難視聴地域への対応として、西山町地区の1組合に対し、テレビ共同受信施設の老朽化に伴う修繕等の経費の一部を補助した。今後も暮らしやすい環境を整備するため、継続した支援を行っていく。	有
4	P.7~8	「②安全・安心で暮らしやすい環境の整備」のところに、「地域における情報化」に関する取組の記載がありませんが、過疎地域における住みよさと利便性の向上を考える上で不可欠な要素だと思いますので、現状と合わせて、何か取組まれたのであればどんな小さなことでも報告していただけますと有難いです。	企画政策課	同上	有

No.	掲載ページ	意見等（原文のとおり）	回答所管課	意見に対する回答	報告書 修正有無
5	P.6・9	「③ 雇用の場の創出」に対する「主な取組と今後の展開」が、【高柳町地区】は、じよんのび村の利用者数の大幅増加を掲げている。雇用数も新経営体制前よりも増加したのか、または経営改善によって雇用数の増加を目指していくのか等、雇用の観点での記述も追加したほうがよいのではないか。同様に【西山町地区】においても雇用の観点での記述も追加したほうがよいのではないか。	商業観光課	次のとおり修正します。  【高柳町地区】 じよんのび村では、宿泊施設の空調や温泉設備などの修繕を実施するとともに、指定管理者である株式会社じよんのび村協会の経営改善を図るため、代表取締役候補の募集を実施した。その結果、施設機能の維持管理及び新たな営業施策などの展開により、利用者数は前年度から大幅に増加した。今後も計画的な修繕及び新経営体制の営業施策の後方支援に努め、都市と農村との交流を促進し、外貨獲得と地元への還元、関連産業への波及効果、雇用創出など高柳町地区の持続的な発展に取り組んでいく。 【西山町地区】 ・海水浴場の整備では、石地海水浴場駐車場の周辺環境の美化及び大崎公衆トイレの一部を洋式化することにより、利便性の向上を図った。また、地元NPO法人と連携して海水浴場の安全確保に努めた。長浜、大崎、石地海水浴場の利用者数は、前年度から大幅に増加しており、引き続き、安全で快適な海水浴場となるよう、施設の維持管理に努め、海水浴観光による雇用創出を推進していく。 ・周辺環境の特性を活かした集客策を展開し、外貨獲得と地元への還元、関連産業への波及効果、雇用創出など西山町地区の持続的な発展に取り組んでいく。	有
6	P.7	【高柳地区】の3行目、「医師及び医療スタッフを確保」に人数を記載してほしい。	国保医療課	①「少子・高齢化に対応した保健・医療・福祉の充実」の【高柳町地区】3行目以降に、次のとおり追記します。  また、高柳診療所及び高柳歯科診療所において、医師10人（代診医師含む。）及び医療スタッフ12人を確保することにより、安定的な地域医療の提供を行うことができた。	有
7	P.7	令和6（2024）年度以降の園の運営については、検討していく。「は」を追加【高柳町地区】	企画政策課	文章全体を修正しました。	有

No.	掲載ページ	意見等（原文のとおり）	回答所管課	意見に対する回答	報告書 修正有無
8	P. 7	財政面から除雪を支援し、道路の安全な通行を維持した。→財政面から除雪を支援したため、道路の安全な通行が維持できた。訂正【両地区】	道路維持課	いただいた御意見のとおり修正します。	有
9	P. 8・9	井戸の堀換・・・専門用語なのでしょうか？ 「換え掘り」（かえぼり）のことですね？	道路維持課	一般的に「堀換」と使われているため、このままの記載とさせていただきます。	無
10	P. 8・10	地域の小学生により愛称を「黒姫こーたん号」と決定した。→地域の小学生に愛称を募集し、「黒姫こーたん号」と決定した。・・・訂正【高柳町地区】	企画政策課	次のとおり修正します。 高柳町地域内交通を令和3（2021）年8月に再編し、愛称を地域の小学生とともに考案し、「黒姫こーたん号」と決定した。	有
11	P. 8・10	再編前は3台使用していた車両を1台に集約するとともに、高柳小学校のスクールバスを統合し、一体的な利用を行うことで、・・・→再編前は3台使用していた車両を1台に集約し、高柳小学校のスクールバスも統合し、一体的な利用を行ったため、・・・訂正【高柳町地区】	企画政策課	次のとおり修正します。 再編前は3台使用していた車両を1台に集約し、高柳小学校のスクールバスも統合することで一体的な運行となった。それにより、運行に係る市の負担額の大幅な縮減と運行の効率化が図られた。	有
12	P. 8以降 全体	8ページ以降は、全体を通して、一文が長かったり、一部ですが文のねじれなどもあったりして、言いたいことが通じにくい箇所が、何カ所か見受けられます。 全体のスペースの関係もありますが、一文の後に改行を入れた方が良い箇所も、何カ所か見受けられます。ご検討ください。	企画政策課	一文が長い箇所や分かりにくい表記がないか、全体を再確認し、一部修正しました。	有
13	P. 9	③雇用の場の創出 両地区ともに利用者が増加していることは地域の活性化につながっていると思います。更なる集客を期待したいです。	企画政策課	御意見として参考にさせていただきます。	無
14	P. 9	④地域生活交通の確保・維持 この項目以降『再掲』が多いということはP6で挙げた主要施策が多いか、取組が少ないのだと思います。 言葉を変えてでも再掲は少ないほうが施策遂行は実感できます。	企画政策課	P. 6の主要施策②と④、③と⑥の具体的内容が同じである以上、取組が複数の施策に関連することがあるため、内容が同じであっても取組として掲載したいと考えます。言葉を変えた表現はニュアンスが変わり、整合しなくなる可能性もあるので、このままの記載とさせていただきます。	無

No.	掲載ページ	意見等（原文のとおり）	回答所管課	意見に対する回答	報告書 修正有無
15	P.9	③雇用の場の創出～産業の振興 「柏崎市過疎地域持続的発展計画」の中のp27の計画書には、農業、水産業、観光やイベントが重点的に挙げられていますが、スタートから製造業関連の計画が盛り込んでありませんが、定住に求められているのは「仕事」と「住みやすさ」が重要なことから、農業、水産業、観光以外の雇用の場の創出も必要不可欠です。 工業として、西山工業団地に未利用区画が多く残っていると計画書の(4)工業の現況を問題点には記載があります。土地を購入しても企業立地がまだと聞いています。購入してからの経過年数別未利用の企業数や立地進捗についての報告を盛り込んでいただけないでしょうか。	ものづくり 振興課	西山工業流通団地については、既に分譲を完了している土地であり、未利用区画についても購入した土地所有者が存在しております。したがって、市として過疎地域持続的発展計画の進行管理を行うべき事項でないことから報告書への記載を行っておりません。また、西山工業流通団地に進出を検討している事業者に対しては、都度、情報提供等を行いながら今後も企業立地を推進してまいります。なお、西山工業流通団地に企業立地を進め、工場や施設を建設し操業・稼働を開始した事業者に対しては、企業立地促進助成金を始め適用可能な支援を積極的に行ってまいります。	無
16	P.9・11	③雇用の場の創出、⑥地域特性を活かした産業や観光の推進について 西山地区では、平成17年の合併前から西山工業団地が整備されています。平成22年に整備された柏崎フロンティアパークの使用率も目標に達したことから、西山工業団地にも目を向けて頂き企業誘致を進めてはどうか。	ものづくり 振興課	同上	無
17	P.9・11	実施により施設の機能維持に努めるとともに、指定管理者による →実施により施設の機能維持に努めた。また指定管理者による・・・訂正 （一文を二文にする）【西山町地区】	商業観光課	いただいた御意見のとおり、修正します。	有
18	P.9・12	【西山町地区】海水浴場の整備について、「地元NPO 法人と連携して海水浴場の安全確保に努め、長浜、大崎、石地海水浴場の利用者数は、前年度から大幅に増加した。」という記載は、「利用者数の大幅な増加」の要因が「地元NPO 法人と連携して海水浴場の安全確保に努めた」ことであるように解釈できるが、実際どうであったか。主たる要因と言い切れない場合は、2文に分けるか、「地元NPO 法人と連携して海水浴場の安全確保に努めたこと『などに』より、長浜、大崎、石地海水浴場の利用者数は、前年度から大幅に増加した。」等に表現を変えてはどうか。 (P.12は再掲)	商業観光課	次のとおり修正します。  海水浴場の整備では、石地海水浴場駐車場の周辺環境の美化及び大崎公衆トイレの一部を洋式化することにより、利便性の向上を図った。また、地元NPO法人と連携して海水浴場の安全確保に努めた。長浜、大崎、石地海水浴場の利用者数は、前年度から大幅に増加しており、引き続き、安全で快適な海水浴場となるよう、施設の維持管理に努め、海水浴観光による雇用創出を推進していく。	有
19	P.9他	9ページ以降同内容を（再掲）として記載してある箇所が多いが、くどくなるのでやめた方がいいと思う。項目の方をまとめるなど工夫できないか。	企画政策課	P.6の主要施策②と④、③と⑥の具体的内容が同じである以上、取組が複数の施策に関連することがあるため、内容が同じであっても取組として掲載したいと考えます。	無

No.	掲載ページ	意見等（原文のとおり）	回答所管課	意見に対する回答	報告書 修正有無
20	P. 11	プロモーションを実施し、県内旅行者から・・・→プロモーションを実施した。また県内旅行者から・・・訂正（一文を二文にする）【高柳町地区】	商業観光課	いただいた御意見を参考に、次のとおり修正します。  プロモーションを実施した。これにより、県内旅行者からツアー商品が販売され、観光誘客の促進につながった。	有
21	P. 12	⑦交流・定住の推進について、「若い夫婦」「移住」とあると、子供が増えるイメージがあります。学ぶ場（学校）をどのように確保していくのかがあると良い。	企画政策課	表記について検討し、次のとおり修正します。  平成29（2017）年のインターンをきっかけとした移住者が、市の指定管理施設である「陽の楽家（ひかりのらくや）」を利用した新たな事業に向け準備を始めた。この取組は、伝統あるかやぶきの建物を守るとともに、地区外や都市部の方が本地区に関心を持つきっかけとなった。今後も様々な視点から交流人口を増やし、移住を推進していく。  なお、学校については、「⑨地域と連携した教育の向上」で取組を記載しています。	有
22	P. 12	「⑦交流・定住の推進」【高柳町地区】1点目は柏崎市としての取り組みなのか。この内容だご夫婦個人による任意の行動と見受けられる。柏崎市として何か取組や展開があるのなら明記したほうがよい。	企画政策課	次のとおり修正します。  平成29（2017）年のインターンをきっかけとした移住者が、市の指定管理施設である「陽の楽家（ひかりのらくや）」を利用した新たな事業に向け準備を始めた。この取組は、伝統あるかやぶきの建物を守るとともに、地区外や都市部の方が本地区に関心を持つきっかけとなった。今後も様々な視点から交流人口を増やし、移住を推進していく。	有
23	P. 13	子どもたちの生きる力を育むことを目指すものの一つに掲げている「かしわざきこども大学」から、→子どもたちの生きる力を育むことをめざす「かしわざきこども大学」から、一部カット【両地区】 ※「ものの一つに掲げている」を、カットしても意味は通じる。	学校教育課	いただいた御意見を参考に、次のとおり修正します。  学校や家庭だけでは体験できないさまざまな活動を通し、子どもたちの生きる力を育むことを目的として、「かしわざきこども大学」から、学校に交付金や、地域の団体に補助金を交付することで、家庭・地域と小・中学校が協働し、特色ある教育活動の充実が図られた。	有

No.	掲載ページ	意見等（原文のとおり）	回答所管課	意見に対する回答	報告書 修正有無
24	P. 13	⑨地域と連携した教育の向上 放課後子ども教室や門出和紙との連携は地域ならではの取り組みで地域活動、教育、文化継承と一緒にできる複合施策だと思います。地方都市の過疎地域にしかできない取り組みをもっと増やしていくべきだと思います。	企画政策課	御意見として参考にさせていただきます。	無
25	P. 13	⑨地域と連携した教育の向上 「特色ある教育活動の充実が図られた」に「今後も地域の特色ある教育活動を進めていく」という文言を加えられないか。	学校教育課	いただいた御意見のとおり修正します。	有
26	P. 13	「高柳町地区意見交換会を実施した」とあるが、どのような意見が出たのか、例示するなどした方が良い。	教育総務課	次のとおり文末に追記します。  参加者からは、統合までの期間が短いことや、地域の特色を活かし、学校を残すための意見などが出され、統合計画の要否を判断する一つの機会となった。	有
27	P. 6～14	人口の減少を食い止めるには、当然ながら「地区からの流出を減らす」か「地区への流入を増やすか」のいずれかであり、①～⑩の施策がそれぞれどちらの効果を期待するのかを意識して書かないと、ただの作文で終わってしまう。 例えば、①の施策により +0人が+15人 とか -30人が-10人 などの具体性がないとフォローも検証も深まらない。 そして、流出については、両地区以外の柏崎市への流出なのか柏崎市以外（県内 or 県外）なのかで、意味合いは異なるため、実績の部分はP. 4～5に掲載しているグラフや表についての内訳として示したらどうか。 例えば自分の身の回りで〇〇さんは高柳から市街地の方へ引っ越してきたという事例は以前から時たま耳にすることがある。それが実際どのくらいなのかを具体的な数字で市民は知りたい。  また、（少ないとは思いますが）流入が若干でも実績としてあるとすれば、その内容を詳しく教えて欲しい。新しく工場が立ち上がったり、新しい観光施設がオープンして通勤者やその家族などが高柳や西山に引っ越すというようなケースはほとんどないと思うが、増加要因があるとすればその数と要因について、これも市民は知りたいポイントである。  特にP. 12「⑦交流・定住の推進」の ～【高柳町地区】 荻ノ島に移住した若い夫婦が、かやぶきの建物を活用したカフェのオープンに向け準備を進めたことが、地区内の活性化に加え、地区外や都市部の方が本地区に関心を持つきっかけとなった。～ とあるが、この夫婦を含めて実際に何人があるいは何世帯が移住したのですか。 たった2人が移住したことをいつまでも象徴的にPRしたり成果として取り上げるのは、その後につながる目立った動きがないことくらい、私を含めた市民はわかっています！	企画政策課	荻ノ島への移住に関する内容については、市の施策との関連性があることから、それが分かるように記載を修正しました。高柳町及び西山町両地区のみならず、市全体として1人でも2人でも本市への移住を選択していただくことが、持続可能なまちづくりにつながり、特に人口が少ない地区においては、地域の活力となる大切な存在であると考えます。  ※参考 令和3（2021）年度の両地区の転入及び転出 高柳町地区への転入： 5名 高柳町地区から転出： 26名 西山町地区への転入： 84名 西山町地区から転出： 109名	無



No.	掲載ページ	意見等（原文のとおり）	回答所管課	意見に対する回答	報告書 修正有無
28	P. 6～14	全般的に取組み・できたことの記載はあるが、新しく見えてきた問題・課題の記載がありません。記載された方が良かったと思いました。	企画政策課	【参考1】として添付した「計画に基づく令和3（2021）年度の各事業の進行管理一覧」に課題や今後の展開も記載しており、これをまとめたものがP. 7～14の構成です。「今後の展開」には、新しく見えてきた課題を踏まえて記載しているため、このままの記載とさせていただきます。	無

柏崎市過疎地域持続的発展計画進行管理報告書(案) 書面審議意見一覧

3 その他（審議項目1・2以外）

No.	掲載ページ	意見等（原文のとおり）	回答所管課	意見に対する回答	報告書 修正有無
1	P.3	過疎地域における人口減少問題については、根本的な解決策を見出すことは難しいと思われるが、地域の機能を持続させることについては、一定の解決策がある様に思います。地域機能維持に必要な人手不足を解消するため「おてつたび」をご紹介します。 既にご存知かも知れませんが「おてつたび」とは…地域の季節的・短期的な人手不足をキッカケに関係人口（地域のファン）を創出するマッチングサイトです。地域（企業や農業等）のお手伝いを行いながら知らない地域を旅して“気づいたら”自分にとって“特別な地域”になっている。といった取り組みです。→ <a href="https://otetsutabi.com">https://otetsutabi.com</a>	企画政策課	御意見として参考にさせていただきます。	無
2	P.15～	計画に基づく令和3（2021）年度の各事業の進行管理一覧について、過疎債を活用した事業と一般財源など他の財源を利用した事業がすべて併列されているが、この計画は過疎債の活用を目的とするものであるため、分けて記載したり、目立つよう色を変えるなどの工夫があっても良いのではないかと。	企画政策課	過疎債の利用「有」及び「過疎債」欄に着色して、分かりやすくなるように修正します。	有
3	P.15以降	具体的事業実施報告が一覧表で示されておりますが、P15 3産業の振興（1）基盤整備事業農業の1枠目、2枠目とも【取組】が「実施する」「導入することで図る」の表記ですが実際令和3年度は実施されたのでしょうか。成果があるので実際されたかと思いますが、そうなると表現を（1）「県営事業により実施された。」、（2）は「予防保全型の維持管理（方法？システム？）を導入し、施設の長寿命化を図った。」ではいかがでしょうか。	企画政策課	いただいた御意見のとおり修正します。	有
4	最終ページ	最終ページに掲載の通り、第三次産業が柏崎市全体でも西山地域、高柳地域でも60%近を占めております。第三次産業は職種が多く、サービス業、金融、IT、医療福祉関係も含まれて職種の幅が広いです。おおまかな業種別割合は出せませんか？それにより医療・介護に従事している人が多いのか、金融、サービス業、観光などに従事している人が多いのか、地域のカラーが見えてきます。	企画政策課	参考資料として掲載しているページであり、過疎計画のデータ情報を更新しているため、このままの記載とさせていただきます。	無

No.	掲載ページ	意見等（原文のとおり）	回答所管課	意見に対する回答	報告書 修正有無
5	—	<p>整備イメージ図の活用について 「計画書」及び「進行管理報告書(案)」とも、対象地区図など視覚的に分かりやすく表現された情報が無いのが残念です。特に、各行政課が個別に行う事業を包括的に示し(事業配置図)、高柳町地区と西山町地区の地域づくりの目標像を表現する「整備イメージ図」として示していただくと、連携すべき事業の状況が一目で分かり、地域の生活や活動が格段にイメージしやすくなります。それらは、政策・計画立案時はもとより、施策の結果や成果を総合的に評価するときや、行政が住民と共にまちづくりを進める際大いに役立つデータになります。</p> <p>整備イメージ図には、P7以降の「(2)主な取組と今後の展開」に記述されている事業対象となった公共施設(医療・介護・教育・福祉等の施設、文化・スポーツ・レクリエーション施設)地域生活交通施設(道路、地域内交通路:バス路線)、イベント開催地等が表示されます。今後、ご検討いただけますよう、強く希望いたします。</p>	企画政策課	御意見として参考にさせていただきます。	無
6	—	<p>方向性として、異存ありません。 全国各地において同様の問題が起きている現状で、各自治体はさまざまな対策を立てていますが、より他地域と連携協力するかたちで解決策を考えることが必要かと思えます。 各地域の特性によって共通した対策をとることは難しい部分もあるかと思えますが、多くの人の力を結集するマッチング機能の強化を期待します(国の仕事かも知れません)。</p>	企画政策課	御意見として参考にさせていただきます。	無
7	—	<p>過疎地域に暮らす方(私も含め)は、昔から住み慣れた地域なので、不便を感じていない。しかし、公共交通機関の本数の減少は、生活の水準を下げる要因の一つです。 また、高柳や西山支所をもっと活用していただき、今回の雪害のような場合には、市役所に情報が一極集中すれば混乱がどうしても起こる。各地域支所で情報を取りまとめ、市役所対策本部と情報共有するなどすれば、負担軽減につながると思います。未だに西山、長岡市大積地区を結ぶ地蔵トンネルは通行止めが続いている。停電して町内会長が市役所、東北電力ネットワークに連絡しても情報が錯綜していると感じた被害が放送されない地域の町内会長がいました。</p>	企画政策課	御意見として参考にさせていただきます。	無

No.	掲載ページ	意見等（原文のとおり）	回答所管課	意見に対する回答	報告書 修正有無
8	—	<p>行政に関して素人の立場なのでご無礼があればご容赦ください。 「・・・過疎地域持続的発展計画・・・」という計画案に多少の違和感を持ちました。 そもそも過疎地域は若者の地域外への流出や出生数減少により限界集落化している地域であり、これを持続的に発展させるのは非常に困難なことに思われます。何か大きなイベントでも無ければ困難です。 であれば、目標としては、 1. 限界集落化している地域の住民が居住可能な環境を整え、無人化する時期をできる限り先延ばしにする方策を考える。 ということに落ち着くのではないかと思います。 そのための行政の対応として今回の内容は申し分ないように思われます。 そうでは無くて持続的発展があくまで目標であるならば、 2. 少なくとも人口減少を増加へ転じる方策を考えねばなりません。 それには思いつくことが2点あり、 ①地域での分娩数を増やす：過疎地に限らず、日本全国で出生数が減少してきています。子供を持ちたいという夫婦にこの地域で出産・育児をしたいと考えてもらえる方策が必要です。会議で発言しましたように、今が最後の機会かも知れません。なぜならこれには出産適齢期の女性がいないければ不可能であるからです。出産・育児や高校までの教育に関してこの地域では個人負担が不要なぐらいの思い切った支援策も考慮されるかと思えます。 ②地域外からの移住促進をはかる：すでに出産適齢期の女性がこの地域では激減していると思えます。ならば、若い人達に地域へ移住してもらえるような後押しが必要ではないかと思えます。明らかに山里に位置する地域であり、農業もしくは林業などを中心として移住・定住する人がターゲットになります。移住した際の援助のみではなく、永住できるための長期にわたる支援が必要です。それには経済的な支援、交通手段への支援、未成年者へは教育の支援などきめ細かく行う必要があるかと思えます。</p>	企画政策課	<p>本計画は、「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法（以下「過疎法」という。）」に基づいて策定し、財政上の特別措置（過疎対策事業債）を活用することとしたものです。 過疎法では、地域の持続的発展を支援することにより、人材の確保及び育成、雇用機会の拡充、住民福祉の向上、地域格差の是正並びに美しく風格ある国土の形成に寄与することを目的としておりますが、委員の御意見にありますとおり、本市としては、高柳町、西山町の両地域を含む中山間地域について、生活環境の快適性をできるだけ維持しつつ、将来的には居住地や公共施設等の集約化を図っていく方針です。 持続的発展を目標とする場合の御意見については、都市地域を含む本市全体における人口減少対策に関係するものであり、今後の施策展開において参考とさせていただきます。</p>	無
9	—	<p>策定された過疎地域持続的発展計画に基づいて、適切に事業が実施されていることを確認しました。しかし、残念ながら目標とする人口推移以上に人口減少が進んでいる状況かと思えます。 今後は、現在取り組まれている事業を継続する一方で、人口減少に伴い発生・増加する「空き家」の利活用、農家の減少と離農者の増加に伴う「耕作放棄地」の利活用の視点を加えて取り組みを進めてはどうかと思いました。現状ではこの2つの視点が欠けているように感じました。</p>	建築住宅課 農政課	<p>空き家の利活用については、空き家バンクを運営し、空き家の所有者と利用希望者のマッチングを行い、利用可能な空き家の利活用を促しています。 耕作放棄地の利活用についても、御意見を参考にさせていただきます。</p>	無